

大阪経済の情勢（平成 29 年 7 月指標を中心に）

「大阪経済は、緩やかに回復している」

需要面では、個人消費は、緩やかに増加しつつある。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、新車販売台数は増加、家電販売額（6月）は減少。家計消費支出（近畿）は減少。投資は、持ち直しの動きに一服感がみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府（6月）は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産（6月）は上昇、全国生産（7月）は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間（6月）は上昇。

先行きでは、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

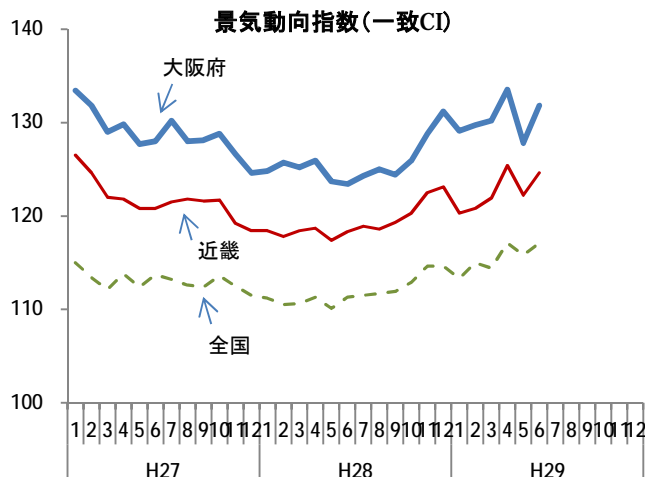
		需要							
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (近畿)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関税外国人 旅客
7月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
6月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
	生産	倒産	雇用			
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
7月	▲	▲	▲	▲	▲	
6月	▲	▲	▲	▲	▲	

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

●景気動向指数(CI)

大阪府(6月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「製造工業生産指数」、「所定外労働時間(製造業)」が上昇に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※H22=100

一致CIの個別系列の寄与度*（大阪府、6月速報）

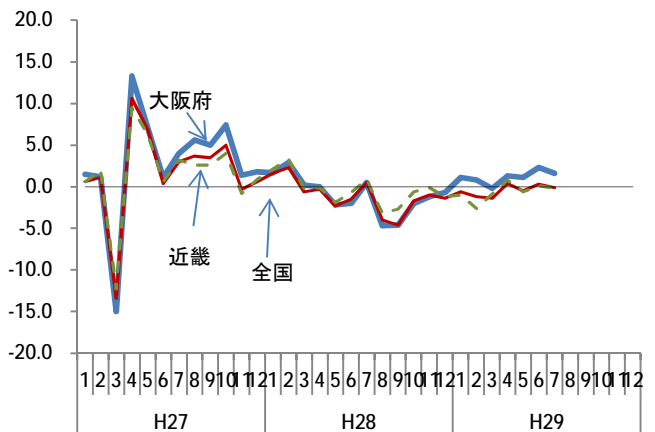
百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
0.20	0.48	1.18	0.76	0.66	▲0.08	0.80

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、緩やかに増加しつつある。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、新車販売台数は増加、家電販売額（6月）は減少。

(前年同月比、%) 百貨店・スーパー販売額(全店ベース)



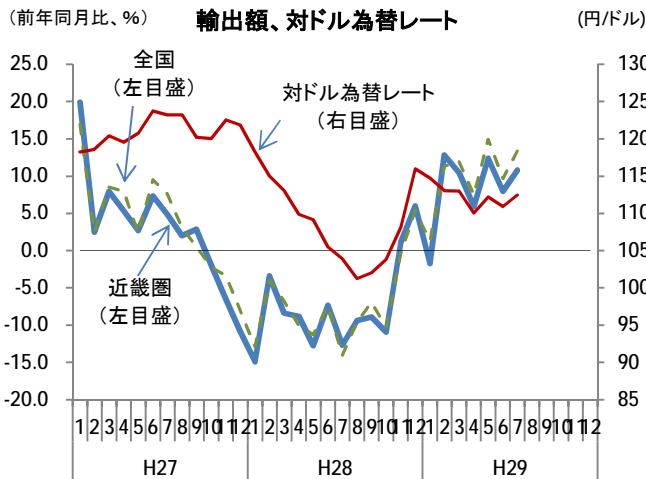
(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比(%)、7月速報）

大型小売店 合計		1.6
うち	百貨店	3.0
	スーパー	0.0

●貿易

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

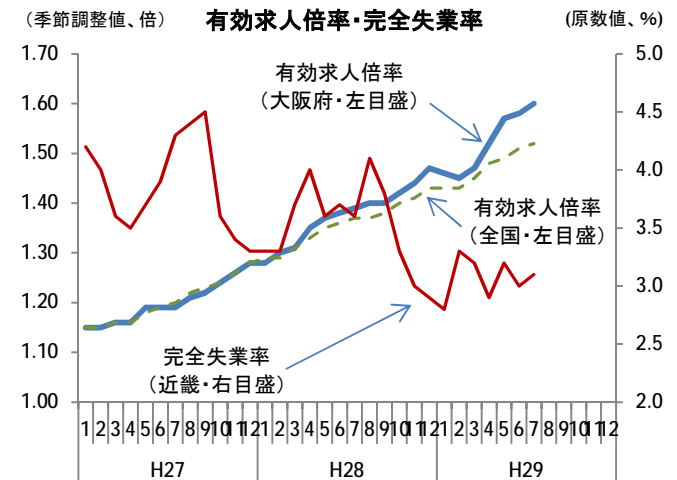
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、7月速報)

アジア(含む中国)	11.1	6ヶ月連続の増加
中国	18.7	9ヶ月連続の増加
EU	7.5	3ヶ月連続の増加
アメリカ	12.4	3ヶ月連続の増加

(資料)大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、着実に改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間(6月)は上昇。



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

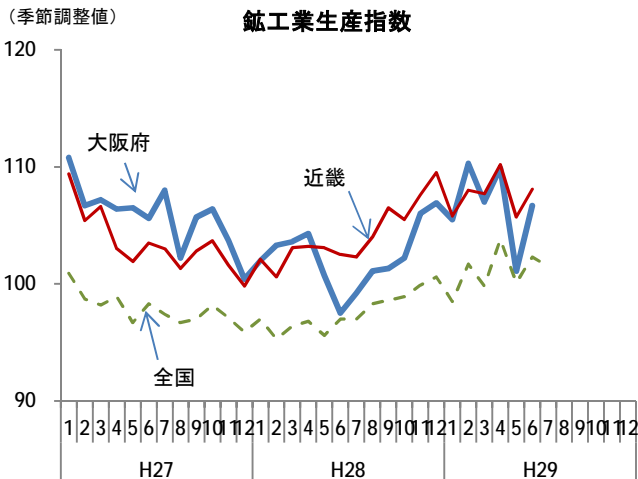
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、7月)

産業計	5.9
建設業	1.8
製造業	8.3
卸売業、小売業	10.2
宿泊業、飲食サービス業	3.9
医療、福祉	1.3

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、緩やかに増加しつつある。大阪府(6月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(6月)は上昇、全国の前年同月(7月)は低下。



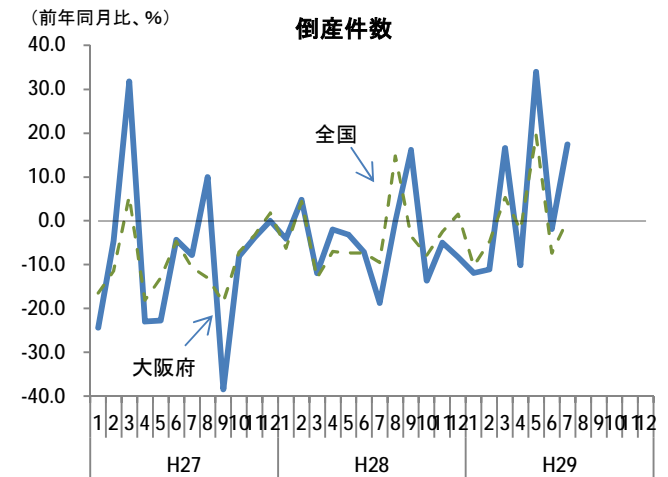
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉄工業生産動向」、経済産業省「鉄工業指数」 ※大阪府は製造工業指数、H22=100

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、6月速報)

上昇	金属製品 (▲9.3)：橋りょう、鉄骨 化学 (11.9)：医薬品、化粧品 輸送機械 (8.6)：シャシー・車体部品、自動車用駆動伝導・操縦装置部品
低下	電子部品・デバイス (▲11.9)：液晶素子 その他 (▲1.9)：金属製機、平版印刷(オフセット印刷) 石油・石炭製品 (▲3.7)：軽油、ジェット燃料油

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、7月)

業種	負債額(百万円)
可鍛鉄製造	5,854
ステンレス鋼材加工販売	2,500
建材・合板、住宅設備機器販売	1,884
洗浄機械装置設計製造	1,650
総合建設業	1,000
婦人服企画販売	698
内装工事ほか	400